



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 ピクスタ株式会社
 コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田茂穂
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5774-2692

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,921	5.7	210	111.2	212	89.8	194	173.9
2022年12月期第3四半期	2,037	0.2	99	14.8	111	3.4	70	21.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 194百万円 (169.0%) 2022年12月期第3四半期 72百万円 (19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	91.49	91.43
2022年12月期第3四半期	31.93	31.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,416	980	39.5
2022年12月期	2,335	909	37.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 954百万円 2022年12月期 885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		0.00	0.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,590	7.1	291	63.6	294	57.0	256	110.5	120.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、短信添付資料の7ページ「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、短信添付資料の7ページ「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	2,296,640 株	2022年12月期	2,278,140 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2023年12月期3Q	263,240 株	2022年12月期	86,510 株
-------------	-----------	-----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	2,121,199 株	2022年12月期3Q	2,219,133 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

"本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。"

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向け緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、不安定な国際情勢等による資源価格の高騰や円安の継続、世界的な金融引き締め等により企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライブイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,921,364千円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は210,667千円（前年同四半期比111.2%増）、経常利益は212,443千円（前年同四半期比89.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は194,073千円（前年同四半期比173.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、月20点、月50点等の少量ダウンロードプランの拡充によるユーザーの利便性向上に資する取り組みが寄与し、106,399人（前年同四半期比10.6%増）となりました。一方、単品の月間購入者数累計は、Googleコアアルゴリズムのアップデートの影響でユーザーの当社サイトへの流入が減少したこと等により、86,541人（前年同四半期比11.9%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,746,836千円（前年同四半期比3.0%減）、うち定額制売上高は、999,845千円（前年同四半期比4.8%増）となりました。また、セグメント利益は、664,489千円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、リピート率は増加したものの、広告費の抑制により広告経由のサイト流入は減少したため、累計撮影件数は16,098件（前年同四半期比2.4%減）となりました。一方で、ギフト券の失効に伴う売上を当第3四半期連結累計期間に7,912千円（前年同四半期は89千円）計上しました。これは新型コロナウイルス感染症による行動制限に伴い有効期限を延長していたギフト券について延長後の有効期限が到来し失効したことにより増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は115,052千円（前年同四半期比5.5%増）となりました。また、セグメント損失は、広告宣伝費を抑制させたことにより、98,387千円（前年同四半期はセグメント損失224,177千円）となりました。

なお、2023年2月14日付で当社の連結子会社であったスナップマート株式会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間よりSnapmart事業を報告セグメントから除外しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ80,760千円増加し、2,416,599千円となりました。

これは主に、現金及び預金が49,536千円、売掛金が42,108千円、流動資産その他が22,151千円増加した一方、有形固定資産が12,880千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ9,729千円増加し、1,436,174千円となりました。

これは主に、契約負債が88,808千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が20,250千円、流動負債その他が59,433千円、長期借入金が30,006千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ71,031千円増加し、980,424千円となりました。

これは主に利益剰余金が194,073千円、新株予約権が1,826千円増加した一方で、自己株式の取得に伴う自己株式の増加139,039千円により減少しております。この結果、自己資本比率は39.5%（前連結会計年度末は37.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、人員配置の見直しによる人件費の減少、広告効率向上による広告宣伝費の減少等を要因とした費用の抑制により営業利益以下の各段階損益が期初予想を上回る見通しとなり、2023年2月14日に公表した数値より修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年11月13日）公表いたしました「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,408,162	1,457,698
売掛金	576,500	618,609
その他	141,201	163,353
貸倒引当金	△22	△64
流動資産合計	2,125,842	2,239,596
固定資産		
有形固定資産	19,063	6,183
無形固定資産	67,931	70,919
投資その他の資産	123,000	99,899
固定資産合計	209,995	177,002
資産合計	2,335,838	2,416,599
負債の部		
流動負債		
買掛金	399,964	400,573
1年内返済予定の長期借入金	60,258	40,008
未払法人税等	23,716	53,716
契約負債	583,838	672,647
その他	298,696	239,263
流動負債合計	1,366,473	1,406,208
固定負債		
長期借入金	59,972	29,966
固定負債合計	59,972	29,966
負債合計	1,426,445	1,436,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,777	332,437
資本剰余金	315,777	322,437
利益剰余金	354,803	548,876
自己株式	△112,406	△251,446
株主資本合計	883,951	952,304
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,235	2,087
その他の包括利益累計額合計	1,235	2,087
新株予約権	24,206	26,032
純資産合計	909,393	980,424
負債純資産合計	2,335,838	2,416,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,037,728	1,921,364
売上原価	696,506	675,836
売上総利益	1,341,222	1,245,527
販売費及び一般管理費	1,241,467	1,034,860
営業利益	99,755	210,667
営業外収益		
受取利息	36	85
為替差益	5,563	1,805
債務免除益	2,026	-
助成金収入	1,210	1,753
受取手数料	3,443	3,383
その他	479	586
営業外収益合計	12,760	7,614
営業外費用		
支払利息	556	339
本社移転費用	-	5,498
その他	6	0
営業外費用合計	562	5,838
経常利益	111,953	212,443
特別利益		
新株予約権戻入益	-	3,972
債権譲渡益	-	48,380
関係会社株式売却益	-	10,008
特別利益合計	-	62,360
特別損失		
投資有価証券評価損	-	18,000
特別損失合計	-	18,000
税金等調整前四半期純利益	111,953	256,804
法人税等	41,106	62,731
四半期純利益	70,846	194,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,846	194,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	70,846	194,073
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,625	851
その他の包括利益合計	1,625	851
四半期包括利益	72,472	194,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,472	194,924
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社は、2022年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が111,926千円(85,300株)増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が139,039千円(176,700株)増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、時価算定会計基準適用指針の適用による、第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、本社の移転及び現本社オフィスの退去に関する決定を行いました。これにより、本社オフィスの退去に伴い利用不能となる一部の固定資産について、耐用年数の見積りを変更しております。また、契約に基づく原状回復に係る費用について、敷金のうち回収が最終的に見込めないと認められる金額及び償却期間の見積りを変更しております。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,631千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	Snapmart	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,800,478	109,078	88,822	1,998,378	39,350	2,037,728	-	2,037,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,800,478	109,078	88,822	1,998,378	39,350	2,037,728	-	2,037,728
セグメント利益又は 損失(△)	691,881	△224,177	△12,453	455,250	△65,883	389,367	△289,611	99,755

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,746,836	115,052	1,861,889	59,475	1,921,364	-	1,921,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,746,836	115,052	1,861,889	59,475	1,921,364	-	1,921,364
セグメント利益又は 損失(△)	664,489	△98,387	566,102	△40,523	525,578	△314,910	210,667

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2023年2月14日付で当社の連結子会社であったスナップマート株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間よりSnapmart事業を報告セグメントから除外しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。